

平成30年3月9日

発 言 者	発 言 要 旨
菊池委員	山形駅西口拠点施設整備事業の工事進捗状況についてはどうか。
営繕室長	現在、建物の基礎及び地下部分を施工しており、3月中には鉄骨工事に着手する予定である。工事は順調に進んでいる。
菊池委員	当該工事への県内企業の参画の状況はどうか。
営繕室長	本工事は発注区分を13区分に分けて発注しており、現在まで9工事を発注済みである。元請業者については、18社のうち13社が県内企業であり、県内企業が占める割合は72%である。また、下請け業者については、2月末まで提出のあった下請け報告によると、70社のうち33社が県内企業であり、県内企業が占める割合は47%となっている。
菊池委員	新たな住宅セーフティネット制度の平成37年度までの供給目標について、どのような基準で設定したのか。
住宅対策主幹	公営住宅の供給目標については統計調査に基づき、世帯数、世帯の所得などを勘案して、目標数を定めている。目標数9,200戸の内訳は、新規や建て替え、退去時の空き家の募集である。子育て世帯の入居目標については、新たな住宅セーフティネット制度を活用して、現在の2,400戸から5,000戸へ倍増させる。
菊池委員	新たな住宅セーフティネット制度の登録窓口はどこになるのか。
住宅対策主幹	窓口は、3月いっぱいまで建築住宅課となっており、郵送も可としている。
菊池委員	住民への情報提供はどのように考えているか。
住宅対策主幹	登録住宅は専用ホームページ、関係団体及び市町村を通じて、周知していきたい。インターネットだけでなく、書面でもPRしていきたいと考えており、各市町村の窓口でも閲覧できるよう依頼していく。
菊池委員	県営住宅の間取りや外観などの情報提供や、申込用紙の市町村への備え付けてほしい。
住宅対策主幹	県営住宅の案内冊子を市町村役場に備え付けることや、申込用紙の市町村への備え付けを依頼していく。
菊池委員	最上小国川流水型ダムのプレミアムダムカードの発行を予定しているが、どのようなイメージなのか。
参事(兼)河川課長	予定しているダムカードは、レンチキュラーカードで、2画面がチェンジするカードとなっている。2,000部発行し、スタンプラリーをした方に赤倉ゆけむり館で配布する。

発 言 者	発 言 要 旨
菊池委員	ダムカードやマンホールカードなどのほか、最近「橋カード」というものもあるようだが、このような取り組みを承知しているか。
道路整備課長	インターネットで得た情報によれば、埼玉県では平成27年3月から12か所の橋梁について、福島県では29年11月から10か所の橋梁について、「橋カード」を配布しているようである。
菊池委員	山形でやるとすれば、橋と周りの景観を合せた美しさを出していくのが「橋カード」の狙いではないかと思う。山形の良さやインフラ技術を知ってもらう上で、このような遊び心を持った方法にも取り組んでもらいたい。
菊池委員	道路中期計画のインバウンド対応について、案内標識の多言語化とあるが、どのように対応していくのか。
道路保全課長	平成28年度から道路案内標識の英語表記及びピクトグラム追加の事業及び交差点名表示板の追加も合わせて実施しており31年度まで279か所の改修を行う予定としている。30年度は約100か所の改修を行う予定である。
菊池委員	道の駅の充実について、今後どのように取り組んでいくのか。
道路整備課長	<p>中長期的なものとして、次期道路中期計画の方向性でも示しているが、本県のゲートウェイとなるような道の駅が「道の駅米沢」以外にも必要ではないかと考えているところである。</p> <p>また、トイレの改修や防災拠点化に資するよう施設の充実を図るため、現在実施している県独自の補助事業を、来年度も継続していくこととしている。</p> <p>さらに、道の駅同士の連携についても今後さらに拡大していくような施策に取り組んでいきたい。</p>
菊池委員	安全に自転車を利用できる環境及び自転車利用者のニーズへの対応など、新年度の取組みはどのようになっているか。
企画主幹	<p>自転車活用推進法については、昨年5月1日に施行となり、県は自転車の活用推進に関する施策を定めた「自転車活用推進計画」を策定することが努力義務となっている。</p> <p>この法律の内容は、県土整備部所管の道路のみならず交通安全教育、健康増進、青少年の体力向上、インバウンド等を含めた観光来訪の促進などで幅広く自転車を活用することとなっており、県土整備部が県全体の事務局を担当することとしている。</p> <p>また、3県知事会において、山形県提案で、3県の観光情報等を取入れた自転車のモデルコースを提案し検討することとなっている。これに関連して観光文化スポーツ部所管の来年度予算として、スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業の中で広域サイクリングモデルコース造成事業を計上している。</p> <p>県の「自転車活用推進計画」については、策定の準備を始め、実効性のある計画になるよう関係部局と連携、協力していききたいと考えている。</p>
菊池委員	自転車を楽しむ環境の整備状況について、本県の自転車道の整備状況はどうか。

発言者	発言要旨
道路保全課長	<p>自転車道は、高度経済成長期以降、昭和51年から村山、置賜及び庄内の3路線を順次整備しており、間沢寒河江山形自転車道線（通称：さくらんぼサイクリングロード）が37.3km、米沢県南公園自転車道線（置賜自転車道：まほろばの緑道）が23.1km、立川鶴岡自転車道線（庄内自転車道）が16.8km、合計で約78kmが整備されている。</p> <p>なお、幅員は約3m程度である。</p>
菊池委員	<p>自転車ユーザーの声は大事であり、意見等を取入れる計画にしてほしいと思うがどうか。</p>
企画主幹	<p>自転車を楽しんでいる方たちの声は大切であり、県内での自転車イベントの主催者や協力している市町村の職員、自転車販売店、高校の自転車部の先生などに取材をしていきたいと考えている。</p>
菊池委員	<p>ぜひ、自転車を愛する人の意見を取入れた計画をお願いしたい。</p> <p>また、山形県の県道などが完成したときの開通式等で自転車のイベントがあればいいと思うので検討をお願いしたい。</p>
菊池委員	<p>人口減少や集落縮小などにより、都市機能のダウンサイジングが必要になってくる中で、橋梁等の廃止についての考えはどうか。</p>
整備推進監	<p>県や市町村の管理している橋梁の補修及び更新については、予算の厳しい中で、いかに進めるか課題となっている。その中で、橋梁を無くすことも一つの選択肢として、今後、検討していかなければならないと考えている。</p> <p>ただ、現在ある橋梁を無くすことは簡単ではないので、地域住民と十分話し合いをしながら進めなければならぬと考えている。</p>
佐藤（藤）委員	<p>風力発電に係る自然公園内での建設許可がおりたと聞いたが、これまでの経過はどうか。</p>
電気事業課長	<p>県営風力発電事業の庄内海浜県立自然公園内における工作物の新築許可等については、平成30年2月26日付けで許可等を受けたところである。</p> <p>本事業は24年に事業を行うことを発表し、自主環境影響評価の取組みを約4年半かけて行ってきた。その間、住民説明会での意見を受けて追加調査を行うなど、丁寧に対応してきた。</p> <p>昨年10月に、環境影響評価書を取りまとめて知事に提出し、併せて、県立自然公園内の設置許可等の申請を行った。このことについて、担当部局で酒田市長や環境審議会の意見を聴くなどの手続きを経て、このたび新築許可等が示されたものである。</p>
佐藤（藤）委員	<p>防浪砂堤の地形が変わると砂草地が壊れるなどと反対している方もいるようだが、反対者への対応はどうか。</p>
電気事業課長	<p>本事業については、これまでに、事業計画、方法書及び準備書等について、12回の地元自治会への説明会や6回の住民説明会を開催して意見を聞き、鳥類、防浪砂堤、騒音及び超低周波音などに対する懸念について、追加調査を行うとともに学識経験者等への聞き取りを行うなど、丁寧に対応してきた。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
	<p>また、この他に、環境保全関係者が主催する4回のフォーラムに参加し、環境保全関係者の方々と直接の話し合いの場を3回持ち、環境影響評価の内容、環境保全措置、追加調査及び様々な疑問点等についての説明やクロマツ林の保全活動への支援の検討などについての提案などを行ってきた。このように、これまで様々な機会を捉えて丁寧に説明や意見交換を行ってきたが、理解を得るには至っていない状況にある。</p> <p>環境保全関係者が懸念する防浪砂堤等については、庄内海岸の他の状況を追加調査し、また、遊佐日向川の既設風力発電所での復旧状況を聴取するなどした。砂堤の原状復旧にあたっては、かやす覆砂工や海浜植物で覆うことにより、砂が飛ばないようにすることとしている。</p> <p>また、風致に与える影響を知事へ報告するなどの許可条件を遵守し、評価書に記載した環境保全措置をしっかりと実行するとともに、環境に配慮しながら事業を進めていく。</p>
佐藤（藤）委員	<p>反対者から理解を得るために、風力発電事業から得た収益の還元として、飛砂を防止しているクロマツ林を保全するといったことはできないのか。</p>
電気事業課長	<p>クロマツ林を保護するための防風柵の整備やクロマツの植林、育成に向けた保全活動、また、海岸美化についての取組み等について検討しているが、具体的な内容については、海岸林の保全や海岸の美化活動の推進をしている地元の酒田市や県庄内総合支庁の担当部局などと連携を図りながら、検討を進める。</p>
佐藤（藤）委員	<p>事業者として、より積極的に、保全に関わっていく必要があると思うがどうか。</p>
電気事業課長	<p>地域の方々から理解していただくことが大切と考えているので、そうした姿勢で臨んでいく。</p>
佐藤（藤）委員	<p>新たな住宅セーフティネット制度について、公営住宅との関係はどうか。</p>
住宅対策主幹	<p>新たな住宅セーフティネット制度の登録住宅は、公営住宅の対象者と一部対象者が重複するが、応募倍率の高い地域での落選者の受け皿となることが考えられる。</p>
佐藤（藤）委員	<p>登録住宅の家賃の設定や、契約期間はどれくらいか。</p>
住宅対策主幹	<p>近くにある同じような借家と比べ割高にならない家賃とする。登録住宅には期間の制限はないが、改修費補助を受ければ、専用住宅として10年間継続が必要である。</p>
佐藤（藤）委員	<p>障子の張り替えや畳の張り替えは、改修費補助事業の対象にならないのか。</p>
住宅対策主幹	<p>対象工事と一体となる工事は対象となるが、修繕工事は対象外となる。</p>
佐藤（藤）委員	<p>トヨタ自動車東日本の東北進出拡大の動きに対応した地域高規格道路の整備について、県はどのように考えているか。</p>
高速道路整備推進室長	<p>トヨタ自動車東日本については、大衡村に進出した当初から、今後、サプライチェーンを地元にも拡大していくとの方針を打ち出していたが、その動きがいよいよ具体</p>

発 言 者	発 言 要 旨
佐藤（藤）委員	<p>化していくものと思われる。</p> <p>県内においても、企業進出条件の一つである、高速交通ネットワークの整備として、東北中央自動車道等の縦軸道路の整備と、縦軸道路をつなぐ横軸道路の整備が急務であり、次期の「道路中期計画」においても、今後は、横軸道路である地域高規格道路の整備に力点をおき、沿線市町村とともに、より具体的な整備効果を打ち出していく必要があると考えている。</p> <p>横軸をつなぐための具体的な県の動きはどうか。努力目標があれば聞きたい。</p>
高速道路整備推進室長	<p>現在、庄内・最上地域においては、国道47号「新庄酒田道路」の整備が着々と進められているが、新庄から石巻に通じる「石巻新庄道路」については、まだ候補路線のまま動きがない。</p> <p>県としては、新庄酒田道路の整備推進に加え、宮城県との連携による「石巻新庄道路」の整備が今後の重要課題ととらえ、今年1月31日に東京で開催された「石巻・酒田間地域高規格道路整備促進に関する地元選出国會議員との懇談会」に副知事が出席し、宮城県や沿線市町村とともに整備の必要性を訴えてきた。</p> <p>また、2月20日には、知事による緊急要望を実施し、その中で、新庄酒田道路の更なる整備促進に向けて、「戸沢立川道路」の新規事業化に向けた「計画段階評価」の着手を要望してきたところである。</p> <p>県としては、様々な機会を捉え、「新庄酒田道路」や「石巻新庄道路」の整備促進について要望活動を行っていく考えであり、宮城県との合同要望の実現に向け調整を図っていききたいと考えている。</p>
佐藤（藤）委員	<p>廻館から草薙間の調査区間への格上げ等の見通しはどうか。</p>
高速道路整備推進室長	<p>「格上げ」等の制度自体が止まっている状況である。計画段階評価の手続きが全ての国道事業に当てはまるので、このテーブルに早く上げて整備を進めてもらえるよう国へ働きかけていきたい。</p>
佐藤（藤）委員	<p>今までは調査もしていないが、これから調査を開始すると見てよいのか。</p>
高速道路整備推進室長	<p>まずは「計画段階評価を進めるための調査」に着手することが必要になる。</p>
佐藤（藤）委員	<p>着手に向け、何か具体的な方策はないのか。</p>
県土整備部長	<p>制度としては、今答弁があったとおりであり、国に対してしっかりと働き掛けをしていきたいと考えている。委員の方々からも支援をお願いしたい。</p>
佐藤（藤）委員	<p>マイロードサポート事業などの地域住民協働の事業は高齢化が進んでいると聞いているが、今後の進め方はどうか。</p>
道路保全課長	<p>マイロードサポート団体の数は、平成28年度には501団体であったが、29年度は484団体であり、減少している。</p> <p>各団体からの聞き取りによると、活動をやめる主な理由は高齢化である。</p> <p>団体の内訳は、自治会が352団体、NPO法人3団体、企業118団体、学校病院等が11団体である。自治会などでは、地域の子供会やPTAなどに声掛けし、子供やその</p>

発 言 者	発 言 要 旨
	親に参加してもらっている団体もあると聞いている。県でも、広報活動を行い、学校やP T A等の若い世代にも参加してもらえよう取り組んでいく。
佐藤（藤）委員	来年度から調査に着手する酒田港港湾計画の改訂のポイントは何か。
空港港湾課長	<p>コンテナ貨物量が4年連続で過去最高を更新するなどの大きな状況変化に対応した土地利用計画の見直しや、クルーズ船の継続寄港に対する受入れ策、港内の静穏度を向上するための防波堤の形状などが改訂のポイントになる。</p> <p>委員会を開催し関係者から意見をもらい、よりよい計画となるよう検討していく。</p>
佐藤（藤）委員	バイオマス発電所の立地計画があるが、地元では燃料の運搬で交通渋滞が発生しないか心配しているがどうか。
空港港湾課長	関西電力の計画を参考にすると、バイオマス燃料を運搬するトラックが4分に1台通行する程度の交通量で、信号交差点に1台停車するかどうかのレベルであるため、必ずしも大きな渋滞が生じるものではないと考えている。
佐藤（藤）委員	植物防疫所酒田出張所が廃止されるとの情報はあるか。
空港港湾課長	酒田港では、木材の輸入が盛んであった頃に比べ、植物検疫の需要が少なくなり、一昨年11月から、酒田出張所には職員を置かず、必要なときに新潟支所から出張して業務を行ってきた。来年度から出張所が廃止される予定だが、これまでと同様の対応を行うと聞いている。県としては、廃止された後も、従来どおり、植物検疫の関係者に不便が生じないような対応をお願いしている。
佐藤（藤）委員	臨港道路に飛砂が堆積しているが、対応状況はどうか。
参事（兼）港湾事務所長	臨港道路への飛砂対策については、フェンスやネットで堆積防止対策を実施しているが、特に、大浜地区に堆積が多い状況である。例年、車道は年1～2回、歩道は春に1回撤去作業を行っている。今年度は、12月に1回、車道の撤去作業を行ったが、この3月の強風により再び堆積したため、撤去作業の指示を行ったところである。
阿部（信）委員	山形自動車道の月山 I C～湯殿山 I C間の整備について県はどのように考えるか。
高速道路整備推進室長	<p>国道112号月山道路は、延長約21kmの山岳道路であり、山形自動車道の「月山 I C～湯殿山 I C間」の連絡道路として、庄内地域と県内陸部、さらには県外地域との物流や交流連携に欠くことのできない重要な路線である。</p> <p>現在、一部は自動車専用道路となっているものの、道路線形が悪い区間や縦断勾配が急な区間があり、高速走行の支障となっている。</p> <p>このため、月山道路の区間については、高速道路として別線で整備されることを強く望んでおり、「政府の施策等に対する提案」においても、「東北横断自動車道酒田線の月山 I C～湯殿山 I C間の事業化に向け検討すること」を提案している。</p> <p>月山道路の高速道路としての整備については、非常に大規模な事業となるため、現道の防災対策事業等、安全性の向上等も同時に政府へ働き掛けていきたいと考えている。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
阿部 (信) 委員	今冬は、大雪で防雪柵の役割が大きかったと思う。12月の常任委員会で、防雪柵の新設は少なくなって更新にシフトしていると聞いたが、平成30年度の事業はどのようにしていくのか。
道路保全課長	防雪柵は、地吹雪対策として昭和50年代から整備してきており、初期に整備した吹溜柵が特に老朽化している。吹溜柵は道路から離れた民地に設置するため、設置撤去の必要があり、更新する場合は道路脇に吹止柵を計画している。平成30年度の更新は、約370m程度を予定している。
阿部 (信) 委員	防雪さくに、ネットを使用している箇所もあるようだが、どのようなものか。
道路保全課長	各社開発している中、樹脂メーカーで開発したものであり、試験的に仮設で使用したことはあるが、耐久性に問題があり、県では設置していない。破損した箇所の交換までに一時的に仮設として使用している事例はある。
阿部 (信) 委員	防雪柵の新設や更新などの予算はどのくらい予定しているのか。
道路保全課長	平成30年度は、新設、更新及び修繕を合わせて約2億円程度であるが、29年度補正予算の約4億9千万円を合わせて事業を進める予定である。
阿部 (信) 委員	湯尻川におけるICT活用工事の概要を説明してほしい。
建設技術主幹	延長340mにおいて、河道掘削7,300㎡、切り土法面整形770㎡をICTで施工した。
阿部 (信) 委員	ICTを活用した工事の場合、作業効率や省力化の状況はどうか。
建設技術主幹	丁張りが不要となることによる時短、人員削減ができる。施工機械も自動制御されるため、過掘り等の防止が図られ、仕上がりもオペレータの技量に左右されにくい。従来施工と比べ、出来形管理もドローンによる面的なデータをもとに出来形管理図表が自動的に作成される。また検査も人工衛星を活用する機器で容易にできるため、人員や書類の削減が図られている。
阿部 (信) 委員	余目酒田道路のICT活用工事の現場を視察して感服した。県の工事でも進めてほしい。どのような企業が積極的にICT活用工事に取り組んでいるのか。
建設技術主幹	県土整備部発注工事としては、ICT活用工事の実績は2件だが、先日開催した県職員と建設業者等を対象としたi-Construction説明会において、実績のあった2社からICTに取り組むメリットを含めた体験談を話していただいた。ICT活用工事へ取り組む意識付けになればと期待している。
阿部 (信) 委員	今年度の県民ゴルフ場の利用状況はどうか。
総務企画課長	<p>県民ゴルフ場の平成29年度の営業日数は217日であった。雪が多かったため、28年度の営業日数238日より21日少なかった。他のゴルフ場も営業日数が少なく、県内全体の入場者数は、28年度に比べて1万人程度減少している。</p> <p>しかし、県民ゴルフ場にあつては、28年度入場者数29,979人で、29年度は30,630人と、3万人を超える入場者数を達成した。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
阿部（信）委員	<p>県民ゴルフ場は指定管理者による管理運営が行われているが、これまでの選定において、応募者はどの程度あったのか。</p>
総務企画課長	<p>県民ゴルフ場は平成10年10月にオープンし、18年度に指定管理者制度を導入した。18年度から22年度の5年間における指定管理者への応募は4者あり、結果として(株)新庄アーデンゴルフ倶楽部が選定された。23年度から27年度は3者の応募から(株)山形ゴルフ倶楽部が指定され、現在の指定期間となる28年度から32年度については、2者の応募から(株)山形ゴルフ倶楽部が選定されている。</p> <p>次回は、33年度からの指定に向けた公募となる。</p>
阿部（信）委員	<p>応募にあたっての参加資格はどうなるのか。</p>
総務企画課長	<p>選定にあたっては、指定管理者の審査委員会を設置し、あらかじめ募集要項の審査が行われる。これにより認められた募集要項を公表して公募を行うことから、申請を行おうとする者にあっては、要項に定められた要件を満たすことができるかどうかをよく検討の上、申請の可否を判断してもらうことになる。</p>
阿部（信）委員	<p>平成30年度水道用水供給事業予算の減価償却費について、村山広域水道と庄内広域水道の費用の違いがあるが原因は何か。</p>
水道事業課長	<p>減価償却費は、建設に要した費用を（毎年分割して）償却するものである。広域水道ごとの減価償却費の違いは、各事業の規模の違いにより、建設に要した費用が違っていることと経過年数の違いによる減価償却の進捗の違いによるものである。</p>
阿部（信）委員	<p>村山広域水道の受託工事費用とは何か。</p>
水道事業課長	<p>現在、村山広域水道において、送水管河北線の耐震化工事を行っている。このうち河北町内の古佐川（ふるさがわ）水管橋の工事は、河北町の水道管と一緒に乗せることにしているため、水管橋の設計を企業局が一括で発注し、後から河北町に受託工事費を負担してもらうものである。</p>